

- む ずかしいことも、
- む き合う、
- む くぎ太一。



新聞 Vol.27 むくぎ 太一



広島市議会議員

むくぎ 太一



北部地区給食センター(パンフレットより)

2020〜2023年頃の「コロナ禍」を経て、食への関心が高まっていると感じており、

「医食同源」という言葉があるように、健康は食事からという考えが普遍的になってきていると言えます。例えば、スーパーの食料品売り場には、有機栽培にこだわったものや、生産者の顔が見えるものが、所せましと並んでいます。

Q1はP4のQ&Aで解説しています。

学校給食の充実へ高まる期待感
旧安佐市民病院南館跡地(安佐北區可部南)に建設された「広島市北部地区学校給食センター」(以下、北部給食センター)が2026年1月7日に稼働しました。

2026年1月
広島市北部地区
学校給食センター
稼働

PICK UP
コラム
元新聞記者の視点で地域の課題をピックアップします

北部給食センターは最大12,000食を提供できる能力を備えています。稼働初年度、北部給食センターから配食される安佐南区内の学校は、小学校が川内、八木の2校、中学校は安佐、安佐南、城山北の3校となっています。城南中、東原中など5つの小・中学校は来年度以降、順次配食が始まる計画となっています。

北部給食センターの稼働に伴い、残食率の高さなどが懸案だった「選択制デリバリー方式」の解消が進むことで、学校給食の一層の充実が期待できます。

こうしたことは、子どもたちが口頃、口にする給食に対しても同様で、保護者の皆様の関心事は、「質」に向かっていると感じています。「腹がいっぱいになればいい」「質より量」という時代ではないと言えます。

広島市は、(Q1)食育の重要性を認識しており、小学校の給食では、地元で採れた食材を積極的に利用するなど工夫を施しています。例えば、「祇園パセリ」で有名な祇園地区では、祇園小学校で自家製の祇園パセリが提供されています。また、広島菜の産地である川内地区では、川内小学校のメニューに登場します。

こうした取り組みは、食や農業への興味関心を深めるだけではなく、郷土愛を育むことにつながり、たいへん意義深いものであると感じております。広島市の子どもたちが元気で健康やかに成長するた

Q&A

広島市政に関連する質問にむくぎ太一がお答えします。

Q.1 「食育」とは何ですか？

生活や遊びなどを通じて、「食」の知識やバランスの良い「食」を選択する力、健全な食生活を送る力を育むことです。食を楽しむ、自然に感謝する、食文化を学ぶといった取り組みがあります。「食育基本法」は、食育を推進する上での国や自治体の責務などを定めています。

Q.3 LRTとは何ですか？

LRTとは「ライト・レール・トランジット」の略で、次世代型路面電車システムと訳されています。主に低床型の路面電車を使い、都心部の渋滞緩和、コンパクトシティ化の効果が期待されています。日本では、2006年に富山市で、2023年に宇都宮市で開業しています。

Q.5 インクルーシブ遊具ってなに？

インクルーシブ(inclusive)とは、「すべてを含む」「包括的な」という意味を持つ言葉です。障害の有無や身体能力、年齢、国籍などに関わらず、誰もが一緒に楽しめるように設計された遊具のことで、スロープを設置するなどの様々な工夫や配慮が施されているのが特徴といえます。

Q.2 「常任委員会」と「特別委員会」を教えてください。

常任委員会は、本会議の下審査的機関として設けられ、担当部門の議案などを専門的に審査しています。

特別委員会は、特定のテーマを審査するために設けられる委員会です。

Q.4 広島市の空き家対策を教えてください

主な対策は、①適切な管理の促進②利活用、流通の促進——があります。①は、空き家が倒壊するなど周辺に害悪を及ぼさないよう、所有者に指導等をするものです。②は、不動産業界と連携したセミナーの開催や所有者への補助事業で空き家の利活用や流通を促します。

Q.6 「消防団」が知りたいです

消防組織法に基づく市町村の消防組織です。全国で78万人程度います(2022年4月1日現在)。消防団員は他に本業を持つ一方、権限と責任を持つ非常勤特別職公務員としての身分を持ちます。火災や災害時には要救助者の検索や現場の警戒、給水活動などに従事します。

むくぎ 太一事務所

祇園事務所 〒731-0138
川内事務所 〒731-0102

広島市安佐南区祇園1-4-5
広島市安佐南区川内5-31-7

TEL (082) 846-5450
FAX (082) 846-5451



【公式 HP】



【Facebook】



【Instagram】



【X (旧 Twitter)】

プロフィール

椋木 太一 (むくぎ たいち)
1975年7月28日生 広島市安佐南区出身
広島市立川内小学校、広島市立城南中学校、
広島県立安古市高校、早稲田大学政治経済学部卒業
元読売新聞記者 2019年初当選、23年2期目当選
自民党安佐南支部長 経済観光環境委員長

5つの柱

私は、政策の「5つの柱」を掲げています。市民生活の向上に欠かせないと思う施策で、一定の成果を出すことを約束します。

- ✓1. インフラ整備の推進
- ✓2. 地域コミュニティ再生・活性化
- ✓3. 防災・減災
- ✓4. 子育て環境の整備
- 5. 「カラーバリアフリー」の推進

※✓は今回のテーマとしている政策です。

Q2~Q6はP4のQ&Aで解説しています。

委員会視察のご報告

広島市議会には、経済観光環境や建設、こども文教など6つの(Q2)常任委員会(任期1年)と安心・社会づくりなどの(Q2)特別委員会(任期2年)があり、年1回、県内外で視察を実施します。今年度、私は経済観光環境委員会(委員長)、安心・社会づくり特別委員会で活動しています。VOL27では、それぞれの視察を報告します。

世田谷区では、(Q4)空き家対策をテーマに先進的な取り組みを学びました。金沢市では、2025年元日に起きた能登地震で、液化化した土地の対策などの説明を受けました。

広島競輪場再整備事業 バンクや芝生広場など完成

・完成式典

バンクと選手宿舍兼ホテル棟の完成式が11月28日に開催され、松井一実市長や市議会議員、自転車団体関係者の皆様が臨席しました。

広島競輪場の再整備事業では、観客席などのメイン棟が2025年6月に、バンク、ホテル棟が同年11月に、こども遊具と屋内休憩所、駐車場を備えたエリア「ウエストパーク」が同年12月にそれぞれ完成しています。「ウエストパーク」は、大型遊具と芝生広場を備え、子育て世代を意識したものとなっています。「メインパーク」(バンク、選手宿舍兼ホテル棟)の西側に位置し、大型複合遊具のほか、幅広いユーザーが楽しめる「GSインクルーシブ遊具」があります。

再整備事業は大詰めを迎え、BMXやスケートボードといったアーバンスポーツを楽しめるエリア「アーバンサイクルスポーツパーク」は3月末に完成予定です。自転車文化の発信拠点、そして、子どもたちの歓声が響く憩いの場へ、広島競輪場は生まれ変わろうとしています。2027年度には、GP(グランプリ)に次ぐグレードGIの「読売新聞社杯全日本選抜競輪」が開催予定です。



リニューアルしたバンク

キッズルームや自販機などを備えた屋内休憩所も完備しています。

再整備事業は大詰めを迎え、BMXやスケートボードといったアーバンスポーツを楽しめるエリア「アーバンサイクルスポーツパーク」は3月末に完成予定です。自転車文化の発信拠点、そして、子どもたちの歓声が響く憩いの場へ、広島競輪場は生まれ変わろうとしています。2027年度には、GP(グランプリ)に次ぐグレードGIの「読売新聞社杯全日本選抜競輪」が開催予定です。

■ 経済観光環境委員会

・ 県外視察 11月12〜14日

宇都宮市、川崎市など

①(Q3)LRT(ライト・レール・トランジット) ②Aーによる観光情報提供 ③使用済みプラスチックのリサイクル ④有機農業ーについて調査・研究しました。

LRTについては、2023年8月に栃木県宇都宮市で開業した「宇都宮ライトレール」に乗り、輸送力や利便性などを実感しました。また使用済みプラスチックのリサイクルについては、「株式会社「Jサーキュラーシステム(川崎市)」で、リサイクルの工程を見学しました。どの取り組みもたいへん興味深いものです。広島市に取り入れ、市民生活の向上に役立てたいと思います。



宇都宮市のLRT

・ 市内視察 8月19日

「株式会社ダイエーコテック広島」など

「株式会社ダイエーコテック広島」(以下、「ダイヤ社」、中区江波沖町)と再整備事業が進む「広島競輪場」を訪れました。

「ダイヤ社」は、広島市全域で収集されたペットボトルと容器包装プラスチックを選別、圧縮、梱包し、再商品化事業者に引き渡すといった業務を担っています。

引き渡し量に応じて広島市にペット有償拠出金が入る仕組みとなっており、年間約1億数千円が配分されています。広島市にとって、貴重な財源のひとつといえます。

ペットボトルにラベルやフタが付いたままだと作業効率さが下がり、引き渡し量も減ります。つまり、有償拠出金(収入)が減るということになります。

今回、「ダイヤ社」を視察したことで、各家庭がきちんと分別すること、さらに、ラベルをはがしフタを取ってごみを出すこと、さらには、ペットボトルやトレーはできるだけ洗って出すといったことの重要性を痛感しました。

防災・減災

・ 川内北地区「中央防災道路」

災害発生時に緊急車両の通行や避難をスムーズにさせるため、2023年度から川内北地区(5、6丁目)で2本の防災道路の整備が本格化しています。



今年度整備された現場



来年度整備予定の現場

いずれも、用水路に蓋掛けをして道路を5〜6メートルに拡張するもので、うち、川内6丁目14番地から山陽道側道をつなぐ「中央防災道路」(全長760メートル、幅員5メートル)

では、川内5丁目20番地の50メートルで工事が完了しました。2026年度は、川内5丁目4、5番地の50

■ 安心・社会づくり特別委員会

・ 県外視察 1月27〜29日

仙台市、世田谷区、金沢市

安心・社会づくり特別委員会は1月27日から3日間の日程で県外視察を実施しました。

この視察では、仙台市、東京都世田谷区、金沢市を訪れました。安心・社会づくり特別委員会では、防災減災などをテーマに審査を重ねています。



仙台市旧荒浜小学校

仙台市では、東日本大震災で津波被害に遭った旧荒浜小学校の校舍を訪問し、日頃の心がけの重要性を再認識しました。



世田谷区の空き家対策パンフレット

メートルの工事が予定されています。残す区間も整備を進め、防災性の向上に努めて参ります。

・ 広島市立祇園小「消防教室」

消防士や(Q6)消防団の仕事を知り「消防教室」が11月26日、広島市立祇園小学校で開催されました。

同校3年の児童を対象にしたもので、社会科の「地域を守る仕事」の

「出前授業」として行われました。安佐南消防署祇園出張所の隊員や地元安佐南消防団祇園分団員から、消防車両やホースなどの機材の説明を受けました。また、児童全員が放水を体験しました。

目を輝かせて説明を聞き、歓声を上げてホースを握る子どもたち。この子どもたちが市民の皆様の安全・安心を守る仕事に少しでも興味感心を抱いてくれたら、これほどうれしいことはないと感じております。



祇園小で開催された消防教室